

いさり火

【第7号】
西津小学校
令和7年10月31日



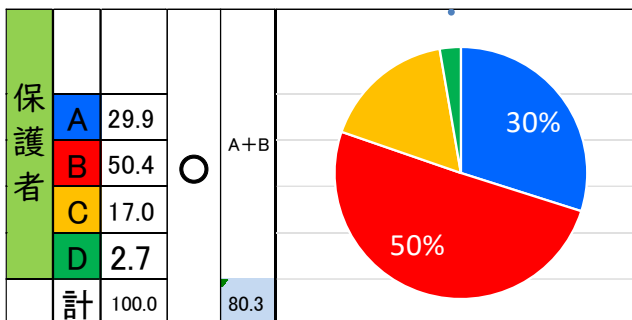
朝夕の涼しさ（冷え込み）に、秋の深まりを感じる頃となりました。
2学期前半には学年に応じた活動が数多く実施されましたが、活動を通して子どもたちの成長を感じる場面がたくさん見られました。来週からは11月に入り2学期の後半に入りますが、今まで同様に子どもたちの「できるようになりたい、伸びたい、やってみたい」という熱い思いを教職員全員で応援していきたいと思ひます。

「学校評価」(中間評価)より

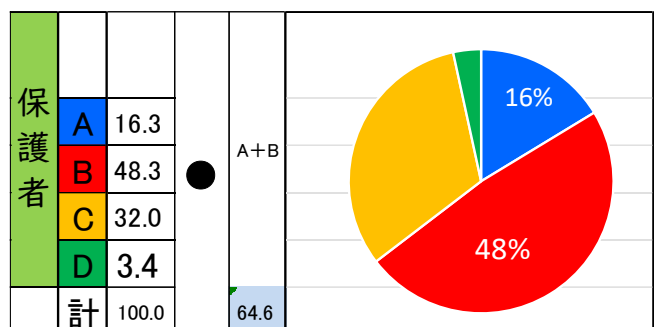
保護者の皆様には、学校評価へご協力をいただきありがとうございました。今回実施しました学校評価は年度途中に実施する中間評価です。全体的に高い評価をいただく結果でしたが、保護者の皆様からの評価が低かった内容についてご案内します。

【保護者評価】より評価が低かった内容（Aほど高評価です）

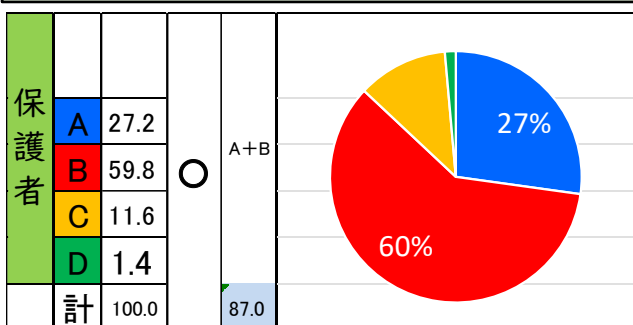
① お子さんは、学年に応じた国語や算数の基礎的な力（読み・書き・計算）が身についていますか。



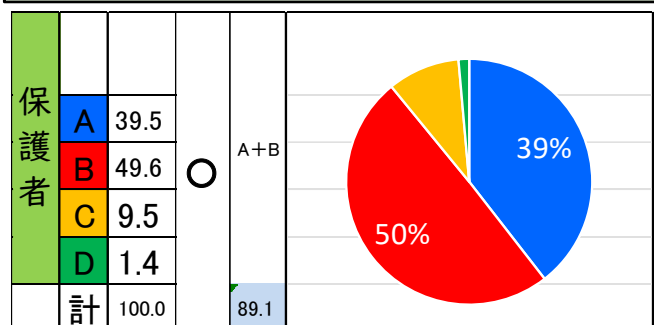
② お子さんは、学習活動や学校行事の後に、次の課題や目標を見つけることができていると思いますか。



③ お子さんは、学校生活で失敗してもあきらめずに最後までやりぬこうとしていると思いますか。



④ 生活科や「いさりび学習」を通して、お子さんは西津の良さを見つけていますか。



上記の内容については、改善を図る取り組みを実践していくことが必要と考えています。現在は、具体的な方策を職員で検討しあい、各学年に応じた実践として取り組みを進めています。2月に実施する2回目の学校評価では、今後の取り組みによって改善点が改良されたかどうか、評価の高いと評価していただいた内容に伸びが見られたかという視点で振り返りを行い、さらによりよい西津小学校にしていきたいと考えています。

心の栄養は読書から・・・

「読書の秋」という言葉があるように、この季節は静かに本と向き合うのに最適です。本を読むことは、単に知識を得るだけでなく、登場人物の気持ちに触れることで『共感する心』が育まれ、物語の情景を思い浮かべることで『豊かな想像力』が養われます。また、様々な言葉に出会うことで『表現力』や『思考力』の土台が築かれます。子どもたちの「生きる力」を育む上で、読書はかけがえのない『心の栄養』と言えるのではないのでしょうか。

そこで、本校では子どもたちが主体的に本に親しむことを通して、読書好きの子が増えることを願い、次のような活動に取り組んでいます。

① 計画的な読書指導

- ・国語の授業で学習した読書教材を活用しながら、図書室や市内図書館の利用を奨励する。
- ・各教科等の学習に関連する本を紹介し、読書を勧める。
- ・各学年の発達段階に応じて学年おすすめ本を選定し、子どもたちの読書の幅を広げる。
- ・図書を活用した調べ学習を行う。

② 継続的な読書活動

- ・朝活動の時間に朝読書を、給食準備中は給食当番以外が教室で昼読書を行う時間を確保する。
- ・読書ボランティアの皆さんによる「読み聞かせ」を週1回実施する。(1～5年)

③ 自分の足跡を記録に残す

- ・各自で「読書の記録」を持ち、読んだ冊数やページを記録していく。
低学年・・・100冊をめざす
中学年・・・5000ページをめざす
高学年・・・8000ページをめざす



④ 図書委員会の活動

- ・図書委員会を中心に、児童間の読書紹介や読み聞かせ、しおり作り等々の活動を行い、校内の読書意欲向上に貢献する。

⑤ 環境整備

- ・立ち寄りたくなる図書室の環境整備に図書ボランティアの皆さんの協力をいただいている。
- ・各学年の学習に関する本や学級文庫の充実を図り、教室内の読書環境を整える。

⑥ その他

- ・年2回、市立図書館の団体貸し出しを利用する。
- ・週末には読書を家庭学習とし、家庭での読書の習慣づけを行う。

読書習慣を身につけるためには、ご家庭での温かいサポートが欠かせません。この機会に、ぜひご家庭でも「読書のある生活」を始めてみませんか。

① 家庭で「読書の時間」を共有してはどうでしょうか。

テレビを消し、スマホを置き、夜寝る前など時間を決めて親子で一緒に本を読む時間が作れるといいですね。おうちの方が読書を楽しんでいる姿は、子どもにとって何よりの刺激です。

② 本の内容について語り合いたいですね。

「どんなところが面白かった」「主人公はどんな気持ちだったかな」など、読んだ本について対話することで、話への理解が深まり、自分の考えを表現する力が身につくことでしょう。